

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

日本会計コンサルティング株式会社

②事業者情報

名称：	戸田市立喜沢南保育園	種別：	保育所
代表者氏名：	矢ヶ崎 里乃	定員(利用人数)：	138 名
所在地：	〒 335-0014 埼玉県戸田市喜沢南2-6-3	TEL	048-443-9341

③評価実施期間

令和4年6月8日（契約日）～令和5年3月28日（評価結果確定日）

④総評

◇特に評価の高い点

1. 全身を使ったリズム遊びを継続的に行い、子どもの発達と健康を増進させています。

当園では、子どもの身体作りと全身を使っての運動発達の体操をリズムに乗せて体系的に行っています。このリズム遊びによって、各年齢である成長発達の段階を確認しながら、子どもの身体の発達に即した動きをリズムに乗せて体得します。保育士は、研修を通して具体的なリズム遊びの指導方法を学んで、子どもたちに動きを提供し、体の動かし方を楽しめるように進めています。子どももリズムに乗って体のバランスと動きをピアノに合わせて行い、ひとり一人の持っている運動能力に合わせて参加しています。小さい頃より継続的に行っていることより、子どもの健康が維持、増進されています。

2. 食育の取り組みに調理室も積極的に関わり、子どもたちの食に関する意識を広がっています。

子どもたちは、給食を通して様々な食材が使われていることと、食べたことがない食材に触れています。野菜の栽培も行っていますので、野菜当てクイズや野菜のシルエットクイズなどを楽しんでいる様子が見られました。知らない野菜や、知っていても苦手な野菜も、クイズや野菜への散水と収穫体験を通して、「苦手な野菜も食べられた」などの子どもの発言も掲示物などを通して出ています。クッキング保育では調理室の職員も保育に関わって、包丁の持ち方や野菜の切り方を伝えています。子どもが自ら参加した献立は、お代わりが出るほど楽しんでいる様子でした。子どもの遊びであるごっこ遊びでも八百屋さんや団子づくりなどを行い、楽しんで食に関する活動を再現しています。

3. 職員の問題解決意識が保育園の子ども姿を通して保育に還元されています。

保育関連のみならず、子育てに関する様々な社会的問題をテーマにして学びを深めており、当園ではどうするのかなど、身近な事例などを通して、対応を検討しています。職員の問題意識から、問題の解決方法を具体的に検討しています。例えば、子どもの不在時対応について、対応訓練を通じて、どの時間帯に対応しているのか、何を確認する必要があるのかなど、不在時対応のツールとしてチェックシートが必要だと職員から意見が挙がり、不在時対応のチェックシートを作成しています。このチェックシートは、通常対応に加えて2重、3重の確認となる内容になっています。こうした職員の問題意識や改善意識が、保育園の課題解決につながっています。

## ◇特にコメントを要する点

1. 保育所が描く職員のキャリアパスの明示が待たれます。

保育所では、市が定めた「第二期戸田市子ども・子育て支援事業計画」に沿って保育の全体計画や行事計画、職員の研修計画などを策定しています。また、人事評価における仕組みとして年数回の面談を設定おり、職員の目標到達の度合いの確認や意欲向上を図っています。育成の為の研修メニューや部会組織による研究等もより良くなるよう見直しを繰り返しています。市として職員に求める職務遂行能力を定めて水準も定めています。しかしこれらの取り組みのゴール指針ともいえる保育士職員としてのキャリアパスが、職員に対して示されていませんでした。キャリアパスの策定と種々の取組みの連動が待たれます。

2. 当園から保護者への新たな情報発信方法の検討が待たれます。

コロナ禍において、保育所では保護者に保育の様子が伝わるよう、送迎時の声掛けや園だよりの改善等様々な方法で保護者とコミュニケーションを取り、子どもの普段の様子を伝えていきます。また、今年度はコロナ禍により、乳児クラスの保育参観が年2回のところ1回のみとなったため、保育や生活の様子を動画に収め懇談会の際に保護者に視聴していただき、保育の見える化に取り組んでいます。しかし、今回の保護者アンケートに保育活動がもっと見えるようにしてほしいとの意見が複数ありました。当園の状況をより効果的に発信していくため、SNSや保育所向けのインターネットツールを活用するなど、新たな情報発信方法の検討が行われるよう期待します。

3. 更なるサービスの質の向上のため、振り返りの仕組みを整備し組織的に改善に繋げていくことが期待されます。

当園では、より良い保育ができるように保育園としての自己評価を実施しています。自己評価の結果は保護者にも共有できるように、園内に掲示しています。また、保護者からの要望や意見箱に寄せられた意見については、職員会議で周知して改善策を検討しています。加えて、改善策等の回答を記載して掲示をしています。組織的な改善体制を構築するため、改善結果を振り返る機会や手順などを整備されてははいかがでしょうか。過去2、3年分の改善活動を振り返ることで、自己評価や要望への対応が徹底されているかを確認することができます。振り返りの仕組みを整備し、改善プロセスの安定に繋げることが期待されます。

## ⑤第三者評価結果に対する事業者のコメント

この度、第三者評価を受審し、保育園の運營業況や保育活動について、専門的視点から客観的に評価していただきました。これにより、職員全体で自分達の保育を見直し、改めて子どもにとっての最善の利益やその運営の方向性についても考えることができました。また、自分達の保育を振り返ることで、職員それぞれの考えや気づきを話し合い、共通認識を深める良い機会となりました。また、保護者のアンケートからは保育やその環境（ICTシステム化等）を見直す意見もいただきつつ、たくさんの温かいコメントをいただけたことも、大変うれしく感じたところでもあります。今回の評価から出てきた課題について分析をし、改善していけるよう保育園全体で取り組んでいきたいと思えます。中でも保育士職員としての「キャリアパス」が、職員に示されていないことは、立場や必要なスキル等が曖昧であることから、一人ひとりに合わせた保育士育成に向け、戸田市立保育園全体で「キャリアパス」を作成したいと思えます。

## ⑥各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙「評価細目の第三者評価結果」のとおり